## 日本文化財科学会第39回大会 座長一覧

	9月10日(土)				
		A-1	木材の年代決定に特化した過去2500年にわたる酸素同位体比標準年輪曲線の構築		
第	箱崎 真隆(国立歴史民俗博物館)	A-2	古建築14C年代調査報告の記述について		
1	片岡 太郎 (弘前大学)	A-3	9・10世紀の日本産樹木の単年輪14C測定		
会		A-4	石器残存脂質分析による「磨痕石」皮革加工具説の検証		
場	建石 徹(東京文化財研究所)	A-5	文化財を活用したユニークベニューにおける調査3-活用科学のための調査-		
	脇谷 草一郎(奈良文化財研究所)	A-6	換気の少ない収蔵庫における汚染物質濃度低減について		
105	励行 早 即 (示及人口的明元的)	A-7	文化財建造物の障壁画の保存・公開時における環境調整方法に関する研究―二条城御常御殿の温湿度環境予測に基づく公開方法の検討―		
講		A-8	モザイク装飾の物理的劣化に関する研究その1)ビザンティン建築に残る壁面モザイクを対象とした塩類風化の数値解析		
義	米村 祥央(文化庁)	A-9	レンガ造煙突の脱塩方法に関する基礎的研究その2)イオンの移流を利用した脱塩		
室	菅頭 明日香(青山学院大学)	A-10	博物館内における遺構の展示手法と周辺環境の最適化に関する研究 – 遺構展示室内の環境調査と遺構の埋戻し方法の検討 –		
		A-11	"BlackSpots"の正体は何か?-還元性硫黄化合物が展示時の銅製遺物の劣化に及ぼす影響		
		B-1	千葉県内縄文時代遺跡の土壌について		
第	天野 真志(国立歴史民俗博物館)	B-2	新型検出器を搭載した可搬型蛍光X線分析装置の開発と古代ガラス製品の非破壊オンサイト分析への応用		
١ ,	南山 誠美 (標百多士学研究所)	В 3	"ロ太皇士の立字"の科学的会校「田和山達陸山上工制旦のララン公米公校を由ふに「		

		B-1	千葉県内縄文時代遺跡の土壌について
第	天野 真志(国立歴史民俗博物館)	B-2	新型検出器を搭載した可搬型蛍光X線分析装置の開発と古代ガラス製品の非破壊オンサイト分析への応用
2	奥山 誠義(橿原考古学研究所)	B-3	"日本最古の文字"の科学的分析-田和山遺跡出土石製品のラマン分光分析を中心に-
会		B-4	富岡市・オオツノシカの化石骨出土記念碑について
場	中村 力也(宮内庁正倉院事務所)	B-5	北限の稲作地帯における土器残存脂質分析
•		B-6	石神遺跡出土土器の残存有機物に対する試験的分析
203		B-7	北海道函館市中野B遺跡出土土器の残存脂質分析
講		B-8	大湯環状列石では何を調理していたのだろうか
義	庄田 慎矢(奈良文化財研究所)	B-9	埋葬人骨周辺土壌からのヒトDNA解析
室	山田 俊輔(千葉大学)	B-10	大山寺宮殿(厨子)の部材の樹種に関する考察
		B-11	Minecraftを利用した遺跡体験システムの試行

9月11日(日)						
		A-12	多孔質材料中の硫酸ナトリウムの塩析出の定量評価と飽和透水係数の推定におけるCTの利用可能性			
	津村 宏臣(同志社大学)	A-13	同一石材で造られた石棺の劣化状態および保存環境の比較による乾湿繰り返しによる石材劣化メカニズムの検討			
第	植田 直見 (元興寺文化財研究所)	A-14	新町遺跡の地中レーダ探査			
1		A-15	奈良県島の山古墳周濠内部の探査			
会		A-16	熱可塑性樹脂を用いた石材表面形状の印象精度の検証			
場 ・ 105 講	李 素妍(鳥取大学)	A-17	アンコール遺構バイヨン寺院主塔の温暖化に伴う気候変動に対する保全対策			
	植月 学(帝京大学)	A-18	文化財防災センター発足後の取り組み			
		A-19	滋賀・浄土寺所蔵天部形立像の転倒防止に関する研究―シミュレーション解析を利用して―			
義		A-20	福岡県船原古墳出土馬具の鉛同位体比分析-ガラス装飾付馬具を中心に-			
室	松井 敏也(筑波大学)	A-21	壁画朱の硫黄同位体比分析のための石膏除去の試み			
-	坂本 稔(国立歴史民俗博物館)	A-22	猪ノ鼻(1)遺跡出土玉類等のXRF、ESR、XRDによる非破壊分析			
		A-23	ブハラオアシス出土のガラス製遺物のSr同位体比分析			

		B-12	ミュオン非破壊分析法による古後藤の目貫の深さ方向分析
	小林 謙一(中央大学)	B-13	首里城跡継世門北地区出土金製"厭勝銭"の負ミュオンを用いた非破壊による深さ方向分析
第	犬塚 将英 (東京文化財研究所)	B-14	出雲市鹿蔵山遺跡出土奈良三彩の胎土分析
2		B-15	矢本横穴出土銙帯の自然科学分析
会		B-16	三昧塚古墳出土金銅製馬形飾付冠の復元模造品製作
場	   千葉 毅(神奈川県立歴史博物館)	B-17	テレセントリック光学系を用いた金の光沢ムラ測定
	大江 克己 (国立アイヌ民族博物館)	B-18	土器の圧痕および混入繊維の観察におけるX線CT画像の有効性
203	八江 兄し (国立) イス氏族時初路/	B-19	土器圧痕同定のためのX線CT画像を用いた現生種実の形態把握
講		B-20	加熱を用いた炭化物および土器の基礎的研究
義		B-21	若狭国鎮守神人絵系図の彩色材料調査-復元模写事業を踏まえて-
室	岡田 健(奈良大学)	B-22	シルクロード沿線に用いられた紫鉱絵具について-絵具の制作材料と使用形態(2)
	秋山 純子(東京文化財研究所)	B-23	文化財染織品に使用された染料の非破壊的分光分析と二次微分解析の有効性
		B-24	奈良・中宮寺所蔵国宝「天寿国繍帳」の染料分析